

<愛教大活性化部門>

愛教大生による SDGs の普及・啓発を目的とした活動

～SDGs を理解し AICHI に広める～

代表者 川富 彩音 (中等教育教員養成課程理科専攻・3年) 他 学生24名 教員1名

1. 活動概要

(1) 概要

ユネスコスクールに認定されている本学の学生である私たち自身が持続可能な開発目標である SDGs を具体的に理解し、地球の問題に対して行動できる社会人・教員を目指す。私たちがこの SDGs を学校現場だけでなく、地域の方々 (学校・自治体・企業・団体・市民) や子どもたちに SDGs を普及・啓発していくための教材を開発する。また、さまざまな機会を通して、持続可能な社会に向けて、SDGs を達成するための教育を展開する活動を行っていく。

(2) 目的・ねらい

愛知県では、「愛知県」「名古屋市」「豊田市」「豊橋市」「小牧市」「知立市」が SDGs 未来都市に選定され、県や市を挙げて SDGs の取組が進められている。SDGs は現在、自治体や企業等が先導的に取組を行っているが、その活動を教育の面でも充実させるため、愛知県の教員になる私たちが SDGs をより深く理解し、行動できる社会人を目指す。また、私たちが子どもや地域の方々へ、この SDGs をわかりやすく伝え、理解し、行動してもらえるようになることをねらいとする。このねらいを実現するため、専門的な講話や解説ではなく、身近な体験や活動を通して、触れたり、体感したりできるような教材を開発し、学校現場や地域のイベント等で活動を行う。

2. 実施状況

私たちは、愛知教育大学学生団体 SAGA(サーガ) (SDGs Aichi University of Education Global(grobal +local) Action) として、以下のような主に2種類の活動を行ってきた。

(1) 出前授業

7月14日 豊田市立市木小学校
10月19日・12月20日 安城北部こども園
11月5日 名古屋市立振甫中学校
12月13日 常滑市立三和小学校

<その他>

教育ガバナンスコースとのコラボ授業
現職教員向けの SDGs 教材体験会
岡崎商業高校とのコラボ



(2) イベント出展

10月16日 ユネスコスクール指導者研修会
10月22・23日 SDGs AICHI EXPO 2021
10月24日 第8回三河湾大感謝
11月14日 親子で学ぼう SDGs キッズパーク
11月20日 第15回科学・ものづくりフェスタ
12月 お家で環境デーなごや (パネル出展)

〈その他・今後の予定〉

- 2月26日 生物多様性 SDGs ユース会議
- 3月6日 生物多様性と SDGs 多世代フォーラム（ポスター展示）
- 3月27日 春日井市図書館グループふじとうワークショップ



(3) メディア出演

- 4月毎週月曜日 OH! MY CHANNEL! 東海ラジオ
- 6月5日 NHK 総合『ウィークエンド中部』
- 7月 ケーブルテレビ『KATCH』オンライン出演
- 11月25日 NHK 名古屋放送局『まるっと』出演

(4) その他

- 7月 マイナビ学生の窓口 SAGA の取り組み紹介
- 9月4日 一般社団法人刈谷青年会議所主催 SDGs アイデアコンテスト

3. 成果

我々は、SDGs の普及・啓発を目的に、チャレンジプログラムのご支援をいただきながら出前授業やイベント出展を数多く行ってきた。

(1) 出前授業

出前授業では、SDGs かるた、SDGs バーチャルまちづくり、バイオミクスリートランプ、生態系8並べの4種類を用いて、授業を行った。どの授業においても、子どもたちは楽しみながら SDGs について学ぶことができていた様子であった。ワークシートの記述では、SDGs の取り組みに対する前向きな気持ちが書かれていることが多く、子どもたちにとって効果的な授業を行うことができたと考えている。



①SDGs かるた

この教材は、SDGs の 17 の目標達成に向け、日常生活で子どもから大人まで実践できる内容がかかれたかるたである。絵札と読み札を対応させることで SDGs について楽しみながら理解することができる。

小学4年生、5年生を対象にこの教材を用いた授業を行った。どちらの学年も既にSDGsの学習が進んでおり、かるたによってさらに学習が深まった様子が見られた。



②SDGs バーチャルまちづくり

この教材は、タブレットや PC を使って自分だけのまちをつくることのできる教材である。まちづくりに用いる様々な建物が、SDGs の 17 の目標とどのように関連しているか学ぶことができる。

小学6年生、中学2年生を対象にこの教材を用いた授業を行った。初めはタブレットを操作しながら建物を建てることに戸惑いは見せつつも、活動を進めていくにつれて、建物と SDGs の関わりについて理解している様子が見られた。



③ バイオミクリートランプ

この教材は、“生き物の仕組み”とそれを模倣して実用化されている“技術”がペアになったトランプである。神経衰弱やババ抜きとして楽しみながら、バイオミクリーについて学ぶことができる。

中学2年生を対象にこの教材を用いた授業を行った。生徒は、神経衰弱を楽しみ、ペアが揃ったときに生物が技術にどのように応用されているか興味津々であった。



④ 生態系 8 並べ

この教材は、数字の書かれた生き物カードを使うピラミッド型の変則7並べである。“8”から順にカードを並べていくことで完成する生態系ピラミッドから、生き物同士のつながりについて学ぶことができる。

小学1年生を対象にこの教材を用いた授業を行った。対象の年齢を考慮し、本来の生態系 8 並べとは異なる扱い方をしたが、子どもたちは生き物を大切にする気持ちを養っているように見えた。



(2) イベント出展

イベント出展では、SAGAが開発した教材を子どもたちが楽しく体験している様子が見られた。出前授業とは異なり、保護者や企業の人と関わる機会もあり、幅広い年齢の人にSDGsやSAGAについて知ってもらうことができたと考えている。教材の中では特に、SDGs バーチャルまちづくりや生態系8並べ(立体版)が多くの人目に留まっていると感じた。今後の教材開発において、この点に留意しながら進めていきたい。



4. 今後の展望

私たち学生団体 SAGA は、今年度多くの出前授業やイベント出展を行ってきた。今年度の活動を通して、大学外での SAGA の認知度に関しては高まっていたと感じる。最近では大変ありがたいことに、企業からお声をかけていただく機会も多くなってきている。しかし、大学内における SDGs および SAGA の認知度はまだまだ低いと言えるだろう。そのため、来年度も引き続き出前授業・イベント出展に積極的に取り組んでいきたい。さらに、大学内での SDGs および SAGA の認知度を高めるため、SNS 等を上手く活用して広報活動も行い、SDGs の普及・啓発に努めていく所存である。



5. 決算

予算：400,000円, 残額： 4,284円

費目	支出額
○ 備品 支出なし	0円
小計	0円
○ 消耗品 感光体ユニット	26,400円
トナーブラック2本パック	33,000円
トナーマゼンタ2本パック	33,000円
トナーイエロー2本パック	33,000円
トナーシアン2本パック	33,000円
adobe コンプリートプラン	39,336円
小計	197,736円
○ 旅費 豊田市市木小学校 (1名)	720円
安城北部こども園 (1名)	1,200円
ユネスコスクール交流会 (5名)	10,600円
安城北部こども園 (6名)	7,200円
AICHI SKY EXP02021 準備 (2名)	5,800円
AICHI SKY EXP02021 1日目 (11名)	31,900円
AICHI SKY EXP02021 2日目 (11名)	31,900円
三河湾大感謝祭 (16名)	37,760円
名古屋市立振甫中学 (6 名)	13,320円 10,300円
東海テレビ (5名)	20,880円
CBCハウジング (12名)	14,880円
常滑市立三和小学校 (6名)	11,520円
グループふじとう (4名)	
小計	197,980円
○ 謝金 支出なし	0円
小計	0円
○ その他 支出なし	0円
小計	0円
合計	395,716円

6. メンバー

番号	学年	氏名	所属
1	3	川富彩音	理科
2	1	足立日向子※	理科
3	1	井山萌々子※	生活
4	1	平林優香※	理科
5	1	細見洸旗※	理科
6	2	山田海友※	特別支援
7	3	日比野愛生※	音楽
8	3	上野 光	理科
9	3	源口太陽	理科
10	3	向井綺音	理科
11	3	小島涼加	理科
12	3	小林遼香	理科
13	4	浅野友香	理科
14	4	片桐朱音	理科
15	4	中山なつみ	理科
16	4	長谷美智雄	理科
17	4	濱野真裕	理科
18	4	牧本未来	理科
19	4	松尾朋晟	理科
20	4	宮川晃大	理科
21	4	森 優子	国語
22	M1	小野 航	
23	M1	竹内真紀	
24	M2	片岡千春	
25	M2	平野純一	
26	教員	大鹿聖公	理科講座

※は、AUE 学生チャレンジプログラム採択
後に参加